

河又 檜抜山エリアのトポ

20160306 改訂 4 版 RCTK

2015年春から2016年春にかけて、クライマーが殆ど訪れず荒れていた檜抜山の蛇岩、雷岩、小泉エリアのボルトや終了点、また、取り付けやアプローチの整備を行い、その際、新ルートの追加やボルダーの開拓、さらに新アプローチ作りを行った。まだまだ不十分な状態であることは否めないが、取りあえず最低限安全に登れると思える状態になったので、関心と暇のある方は訪れてみてほしい。

各ラインの詳細については、解説を参照してもらいたいが、まだまだ8ミリアンカーやRCCボルトも多く、浮石なども完全には落とせていない。したがって、不安な時は必ずチェックをするとともに、1本目が高い位置の場合は、無理せずプリクリップに心がけ、また落石にも注意するなど安全には十分留意しながら登ってもらいたい。

なお、平成29年2月にアクセス問題が発生し、仁田山峠の駐車スペースについては駐車禁止となったため、檜抜へはこうもり岩から尾根を登って行くことになるが、峠からアプローチする場合は峠まで徒歩になるので、こうもり岩に行く仲間がいたら同乗し、峠まで送迎してもらうのが最良の方法と考えられる。

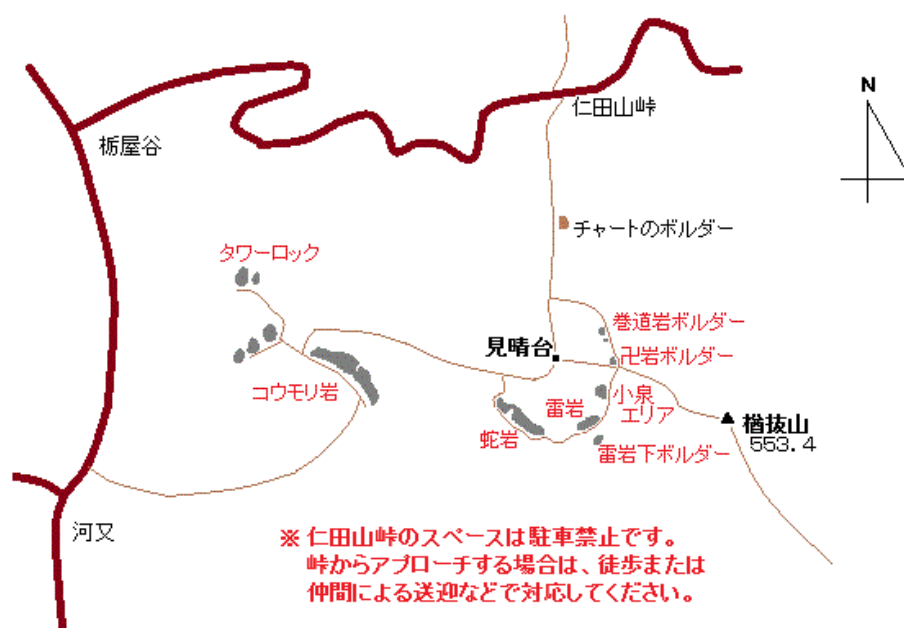
●檜抜山へのアプローチ

今までは、仁田山峠より見晴台（今は何も見えない）まで登ってから鞍部に下り各岩場に向かったが、帰路は登り返しが辛かったため、今回見晴台の最後の急登を避けて、露岩帯を左に鞍部まで巻いていくトラヴァース道を作った。この道はクライマー用だけにといい、入口を木で塞いでおいたが、誰かがそれを取り払い、さらに丁寧にも巻き道の案内までテープに書き込んでおいたため、現在、半公の登山道となってしまったようである。しかしながら、部分的に崩れやすいところもあるので、通行の際は十分注意してもらいたい。

峠から雷岩まで30分程度であるが、コウモリ岩が混雑するときに、尾根を登って檜抜に来るクライマーもいるようで、コウモリ岩から雷岩まで30分程度とのことである。

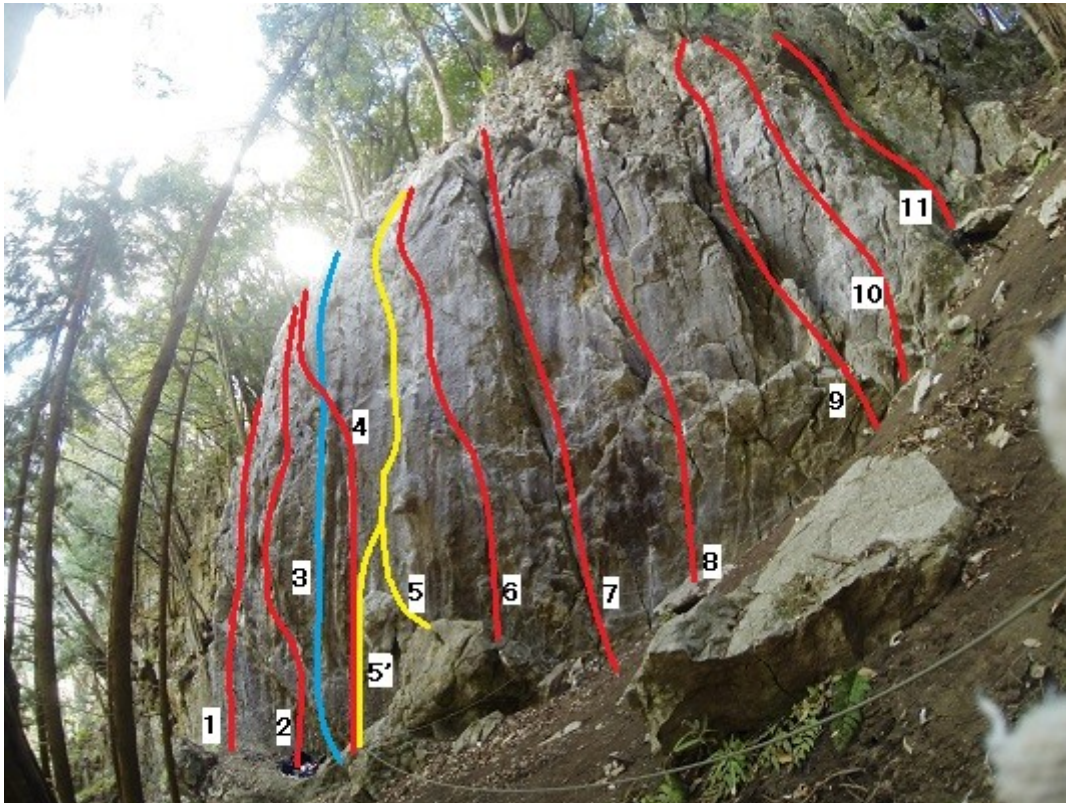
蛇岩へのアプローチについては、尾根上から蛇岩の西端にあるフィックスを降りた方が早いですが、分かり難い場合は、雷岩側から回ったほうが安心確実である。

なお、岩場へのアプローチ用なのか赤いテープが巻かれている木があるが、私が付けたものではないので、図には記載していない。



●小泉エリア

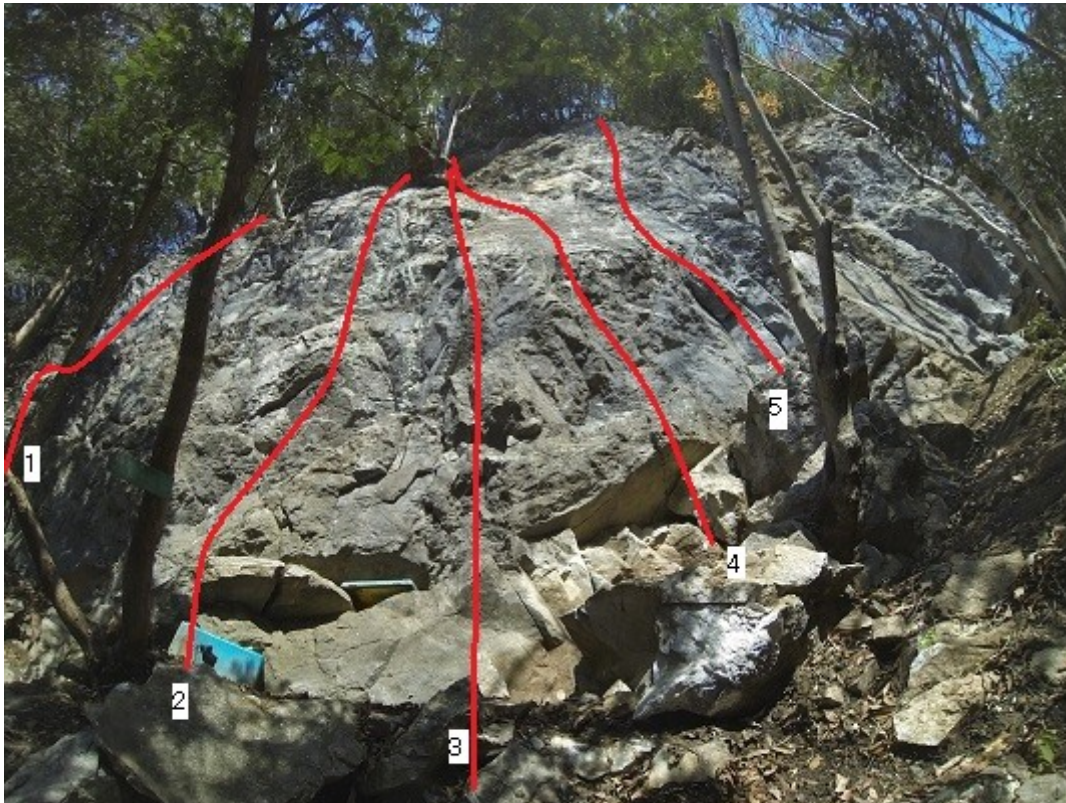
易しいNPラインの設定、傾斜地のフィックス張り、終了点の設置、腐りかけたRCCボルトのリボルトなどを行った。まだRCCボルトがあるが、取りあえず大丈夫そうなのでそのまま使用することにした。

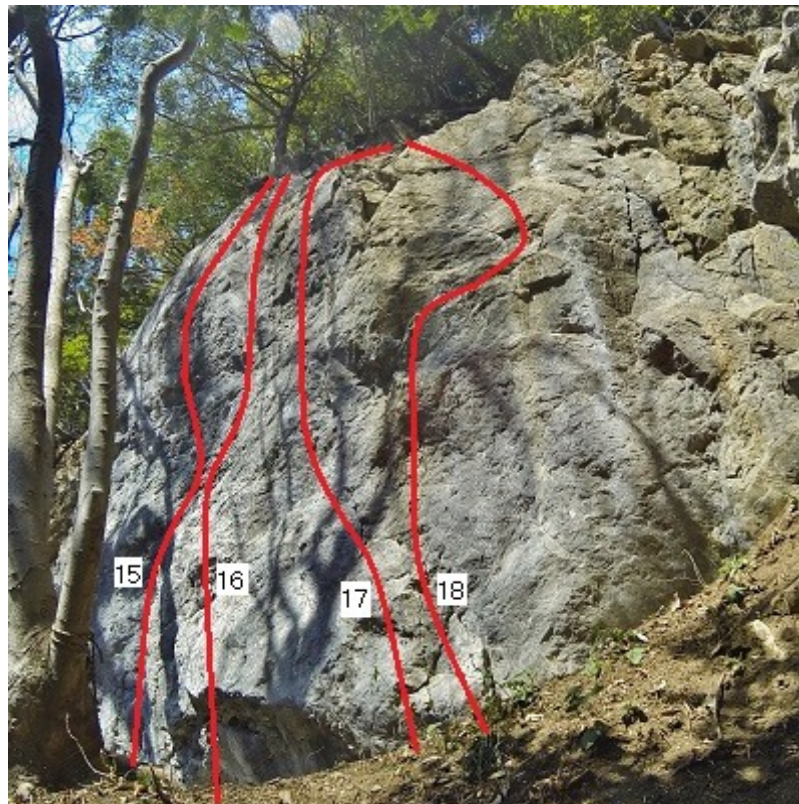
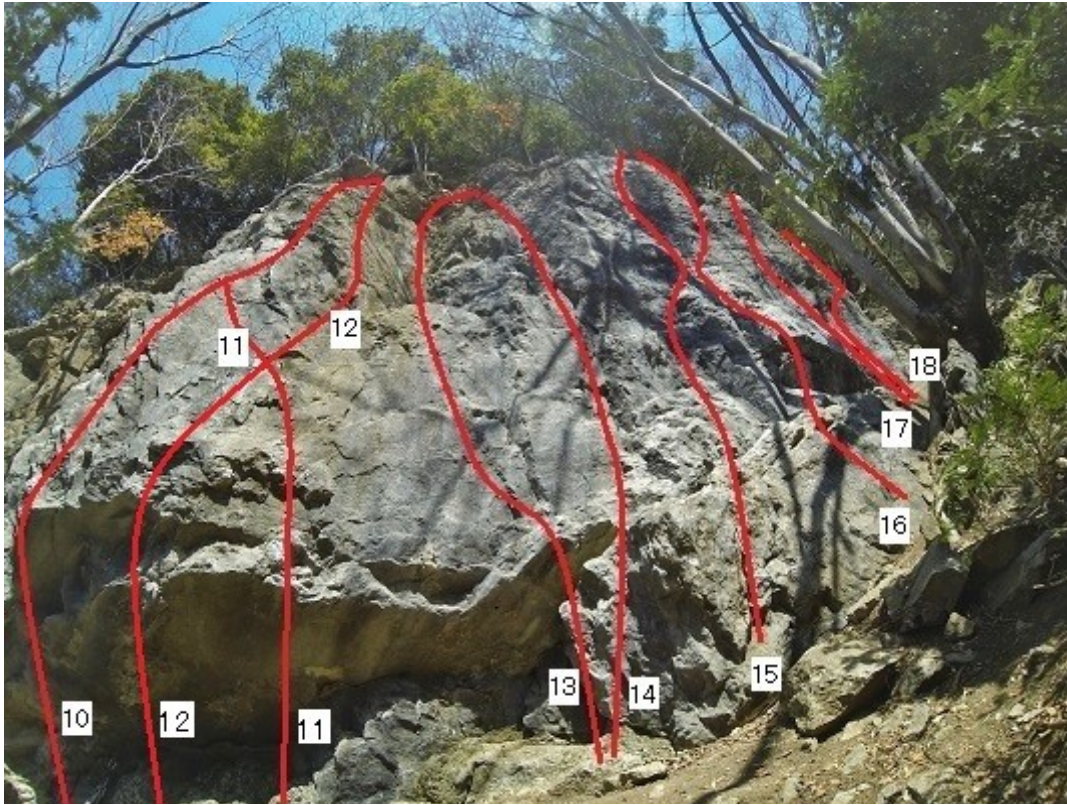


1. カマドウマ(5.10b/c) 新ルート。出だしのフェイスが難しい。
2. 小泉A(5.10a) 意外とパワフル。リボルトでボルトの位置が変わってしまったがご容赦を。
3. 運河(5.10d) 2本並んだ左のコルネとフェイスを使い、最後まで直上。終了点を設置した。
4. 小泉B(5.9) 出だしは小泉Cのロングヴァージョンと同じだが、コルネを下から直上すると難しくなる。
5. 小泉C(5.10d) 小泉Bからスタートするロングヴァージョン(5')あり。最後は左の小さなコルネを使う。
6. 小泉D(5.11a) 最後のムーヴが悪く、11aにグレードアップさせてもらった。一旦小泉Cに合流し、最後は右のクラック部分に登る
7. クラック(5.9) NP 終了点を設置した。
8. 小泉E(5.7) NP&RCCボルト
9. NPの練習Ⅰ(5.4) NP 以下の2本も含めて、プロテクションは確実に取ること。
10. NPの練習Ⅱ(5.6) NP
11. NPの練習Ⅲ(5.5) NP

●雷岩

檜拔山で最も多くのクライマーを迎えているようであるが、やはり終了点や一部ボルトが錆付いていたのでリボルトや整備を行うとともに、左フェイスを中心に易しい新ルートを追加した。ここは冬場は非常に暖かく、寒さが苦手な人にはお薦めである。





1. 楓(5.6) 新ルート
2. 樺(5.7) 新ルート
3. 陽春(5.10a) 新ルート。2本目あたりが核心。
4. 若葉(5.9) 出だしは左から入る。
5. 青葉(5.9) 新ルート。上部脆いところがあるのでホールドチェックは怠りなく。

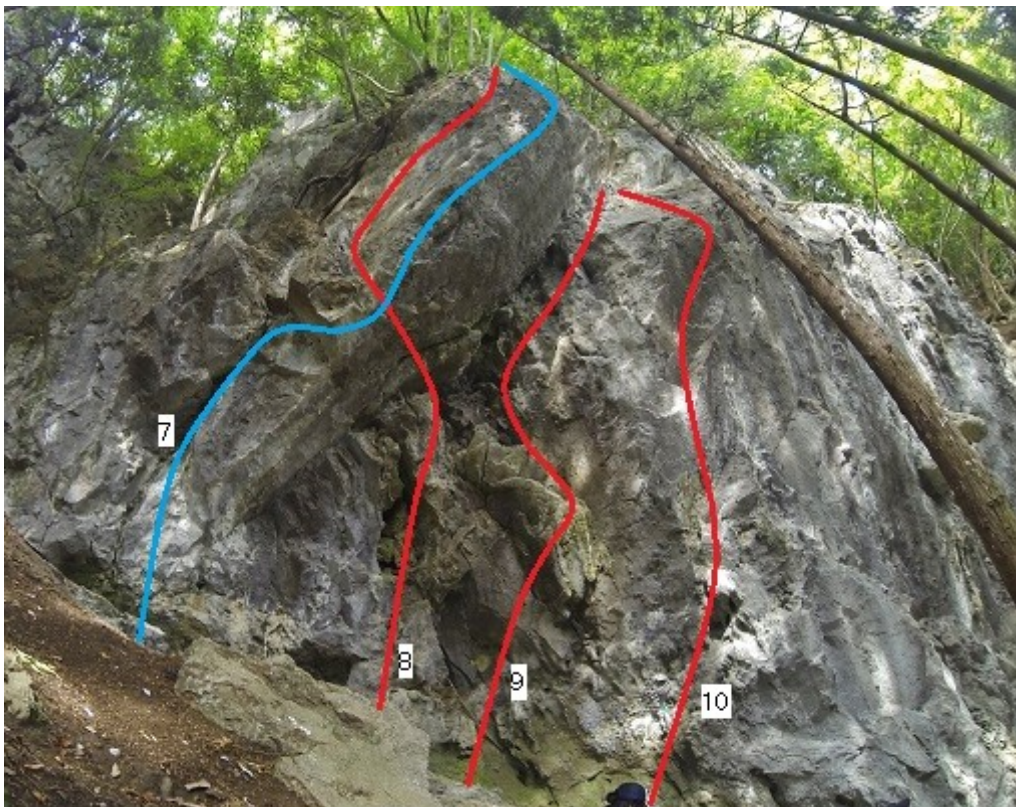
6. 五月雨(5.10a)
7. フレーク(5.9) NPであったが、RCCボルトが打たれた。
8. 時の流れに身を任せ(5.11a) ボルトラインの左側を上がる。
9. レンコン畑(5.10a) 最後湿ったコルネ上が核心。
10. こがらし(5.11b) 出だしの大きな浮石を落とした。グレード少しアップ。
11. カミナリ族(5.11b) 出だしのムーヴが面白い。
12. ブラック・サンダー(5.11b/c) 新ルート。下部ハングの10と11の間を登り、11番ルートの2本目でクロスして直上。13のレッジに出て休まない。3本目と4本目間の浮石を落とした。
13. バラバラ(5.10b) 終了点が泥だらけになっていたため、右のフェイスに新たに設置した。
14. クラック(5.7) NP
15. サンダーボルト(5.12a) 樺抜エリアを代表するライン。昔のトポでこのラインが「スーパーサンダーボルト」で、最後のプロテクションから左のカンテに出るのが「サンダーボルト(5.11b/c)」だった。
16. 冬の稲妻(5.10d) 終了点を15と同じ木に設置したのでラインがスッキリした。
17. 晩秋のレクイエム(5.11d) ボルト沿いに直上するが、11bにしては超難しいので、取りあえず2グレード上げたが、もう少し難しいかも。
18. 終止符(5.10d)

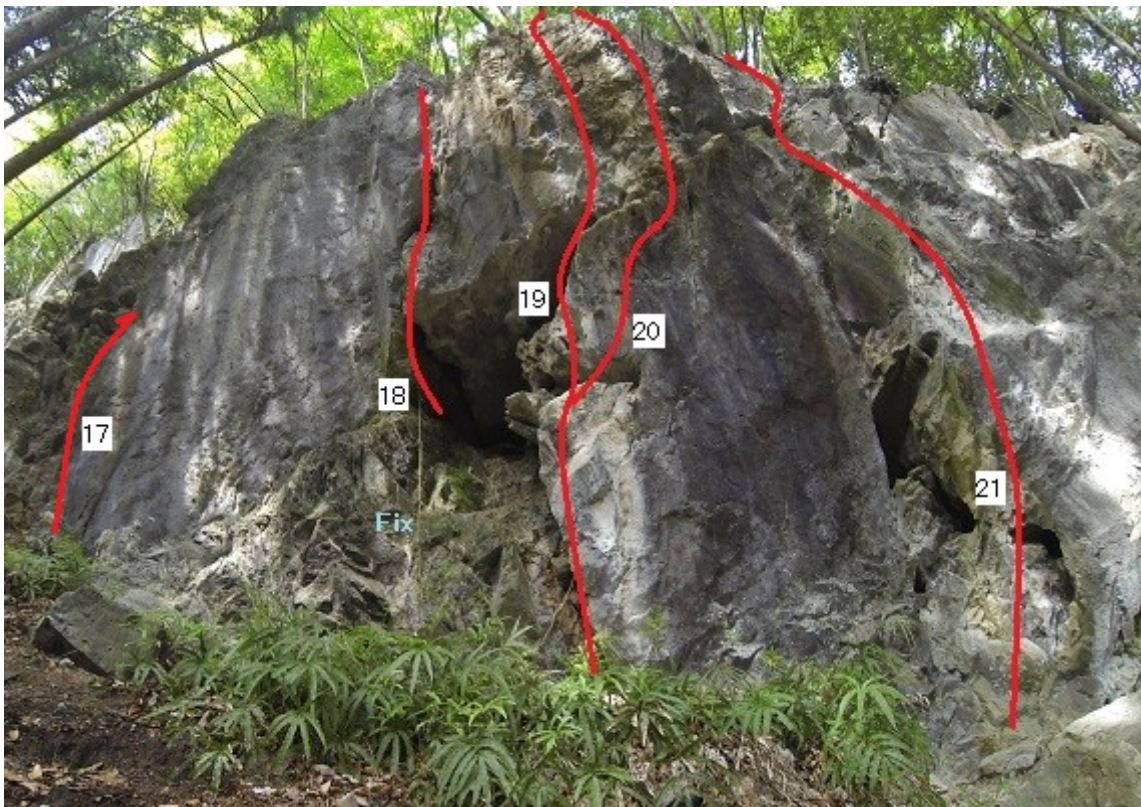
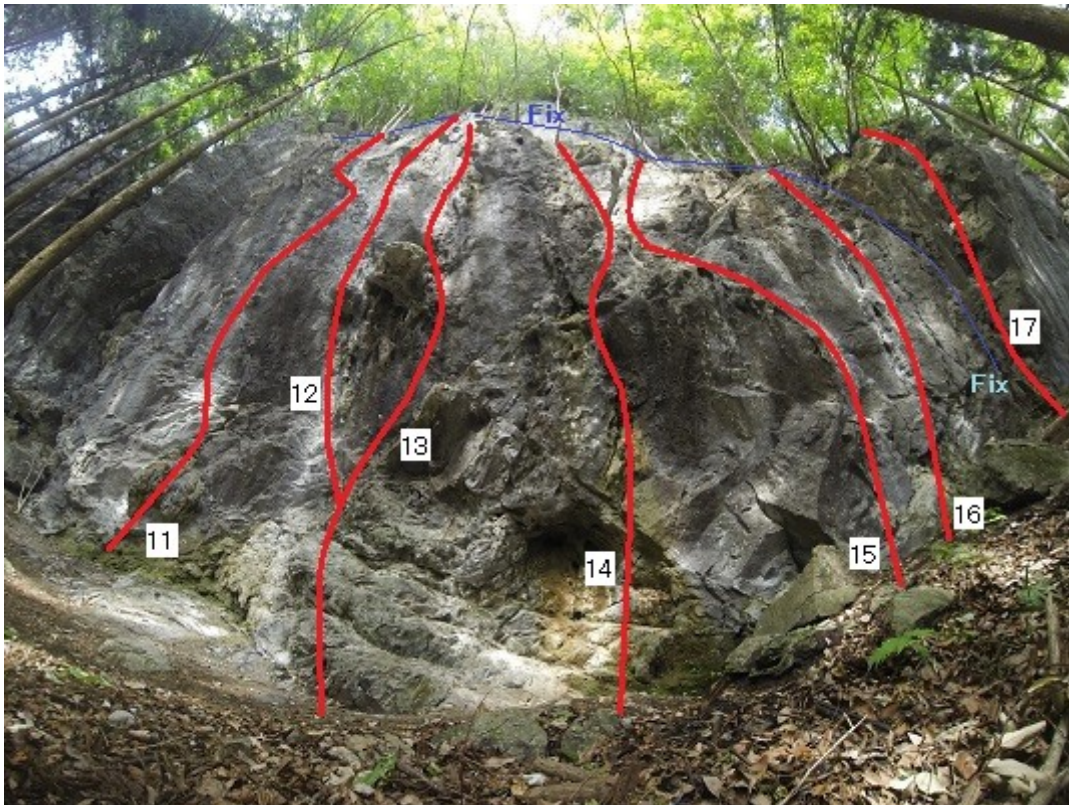
●蛇岩

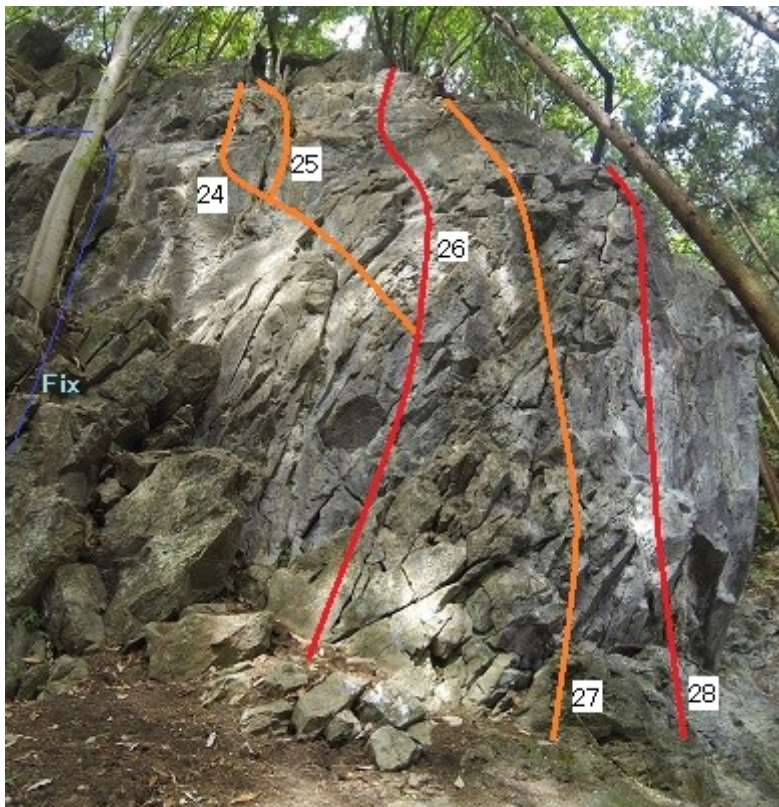
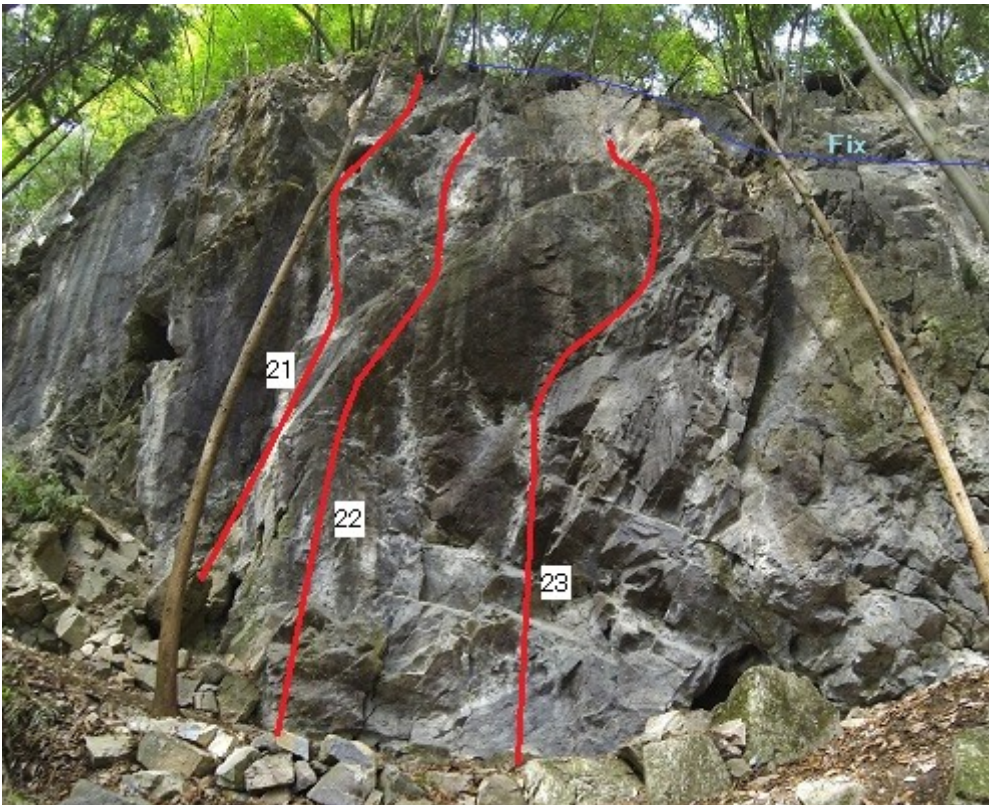
ここはクライマーが殆ど訪れなかったようで、全体的に荒れ放題であった為、リボルトからフィックスや終了点の整備、そして、新たなルート追加と、何日も労力を費やした。

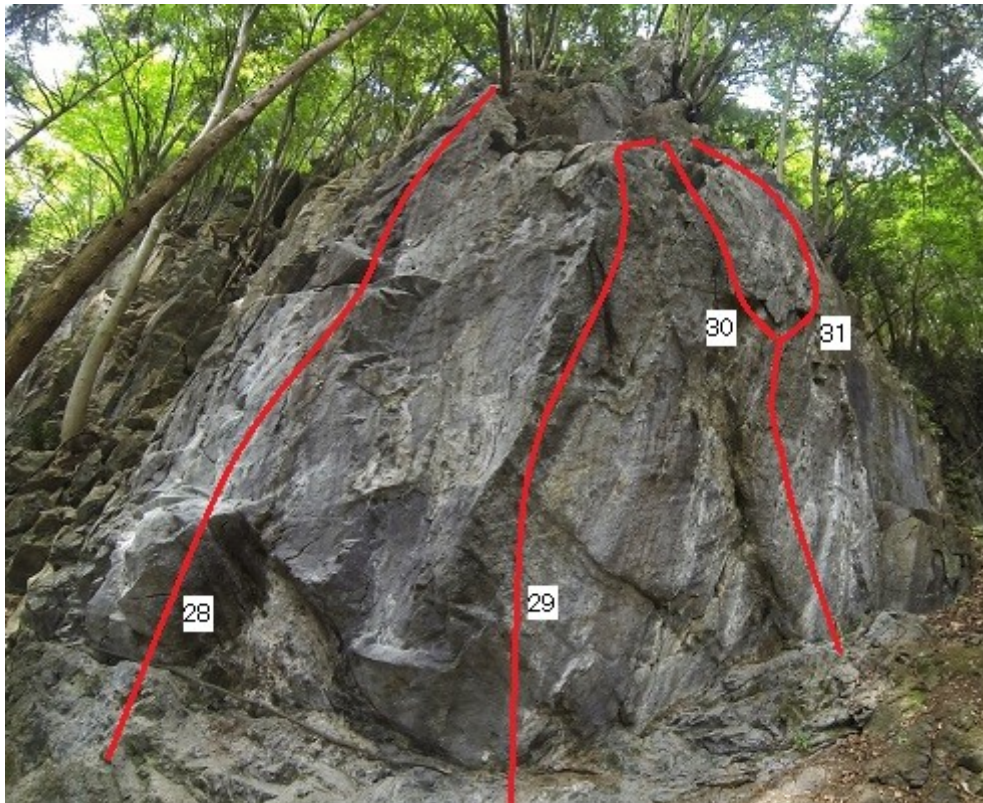
ここの難点は、植林帯に囲まれているため薄暗いイメージがあり、染み出し後の乾きも悪いことが挙げられる。しかし、逆に陽ざしの強い日は涼しい時もあり、ライン数も増えて、クライマーもほとんど来ないことから、時季を選べば、静かにクライミングを楽しむには最適である。











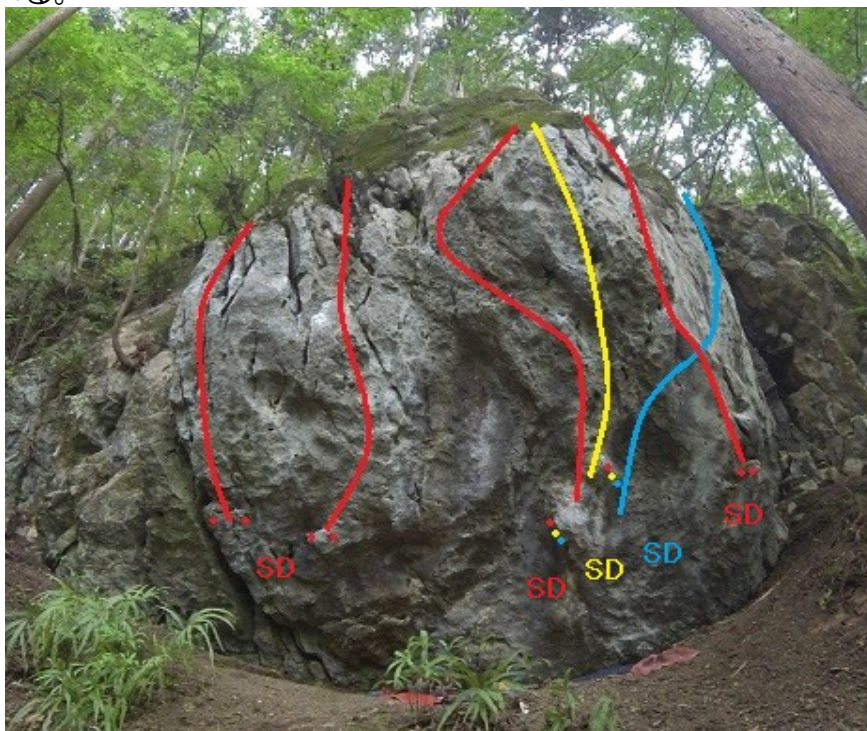
1. M&M(5.10b) 新ルート。アンカーだけ埋められてあったラインで放棄状態だったが、きれいなラインなので新たにボルトを打ちリードラインとした。2番ルートの1本目から左に行く。ルート名は松野、宮城両氏のイニシャルの頭文字から。
2. 覗き穴(5.9)
3. 切り株(5.10a) 1本目は穴に通した残置スリングで不安があったのでボルトを埋めた。
4. キム君のカンテ(5.8) 1本目は3と同じボルトでとる。
5. ペンペン草(5.9)
6. 僕おだっちゃいました(5.10b)
7. ガンバレ・くまモン！(5.12a) 新ルート。プリクリップ。右上クラックからハングのリップ付近を右上していく。左のスラブ側のホールドを使っていくが、スラブ側に出て休まないという限定あり。ヒールフックなどは全く構わない。核心は最後のボルトの下で、細かいリップのホールドから右の方向の悪いガバを取りボルト下のフレイクに上がっていく。トライ中に脆い部分が半分欠けて安定してきたが、まだ欠ける可能性あり。グレードは体調不良でも登れたことから甘目かもしれないので、一応参考程度。
8. インセクタリウム(5.10b) 出だしが9と同じだったが下から直上できるようボルトを設置し、終了点も上部の木まで上げて7番ルートと共用にした。
9. 蜜蜂(5.8)
10. ブラベルス(5.10c) ムーヴが読みにくい。
11. あとは野となれ山となれ(5.11b) 中間部で細かなホールドをつなげていくのが核心。ホールドがまだ粉々でグレードより難しく感じる。
12. ぱよちん音頭(5.11c) 新ルート。クラゲから分かれ、コルネから上部フェイスを直上。最後が核心。身長差が出るかも。限定なし。
13. クラゲ(5.10b)
14. 石筍が見えるよ(5.9) 穴の前に柚の木が生えているがそのままにしてある。
15. 草いきれ(5.8) 上部のボルトは14と別々にした。

16. 山菜取り(5.9)
17. 階段クラック(5.7) NP 新ルート。プロテクションは確実に取ること。
18. ココナツ・クラッシュ(5.10b) ハング下まで脆く危険であったため、ボルトを設置しフィックスを取り付けた、1本目まではフィックスを登る。クラックに浮石があるがそのままにしてある。
19. 竜頭蛇尾(5.11b) 終了点の汚れが酷かったため、終了点を上げて、レッジに立ちこんでから終了とした。最後のレッジに泥が溜まっている。
20. 怒れ鬼女(5.11a) 新ルート。ガバを右上してからカンテを直上。パワフル。
21. ドラム缶ガール(5.10b) 新ルート。出だし左と上部に大きな穴がある。
22. チャイニーズ・ドラゴン(5.11b) 新ルート。ガバカチにランジー発。
23. 抜き足差し足忍び足(5.10c) 新ルート。昔ボルトを打ち始めたが、放ってあったライン。1本目から右ヘトラヴァース気味に行って直上する。
24. 無名(5.10a) TRルート。26の1本目から左上し、ハングを越える。
25. 無名(5.9) TRルート。最後は24から分かれ、クラックを直上する。
26. 寿ぎ(5.8) 新ルート。フェイスの中央を登る。
27. 無名(5.9) TRルート。上部は右のカンテのホールドは使わないという限定あり。
28. 六十の手習い(5.10c) 新ルート。身体を右に振りながら登っていく。
29. 洗脳ゲーム(5.12a) 前傾カンテ 3本目は30番ルートと共用のボルトにプロテクションをとる。
30. サイン(5.10d) 3本目は29番ルートと共用。
31. コサイン(5.11c) 限定があり、上部はカンテに出ずボルト右を直上するのだが、ムーヴが思い出せない、というよりできなくなってしまった。1箇所足を置くホールドが欠けたが、どうムーヴに影響するか不明。右のカンテ上のホールドは浮いていたので落としましたが、そちらから回り込むと易くなる。

●周辺のボルダー

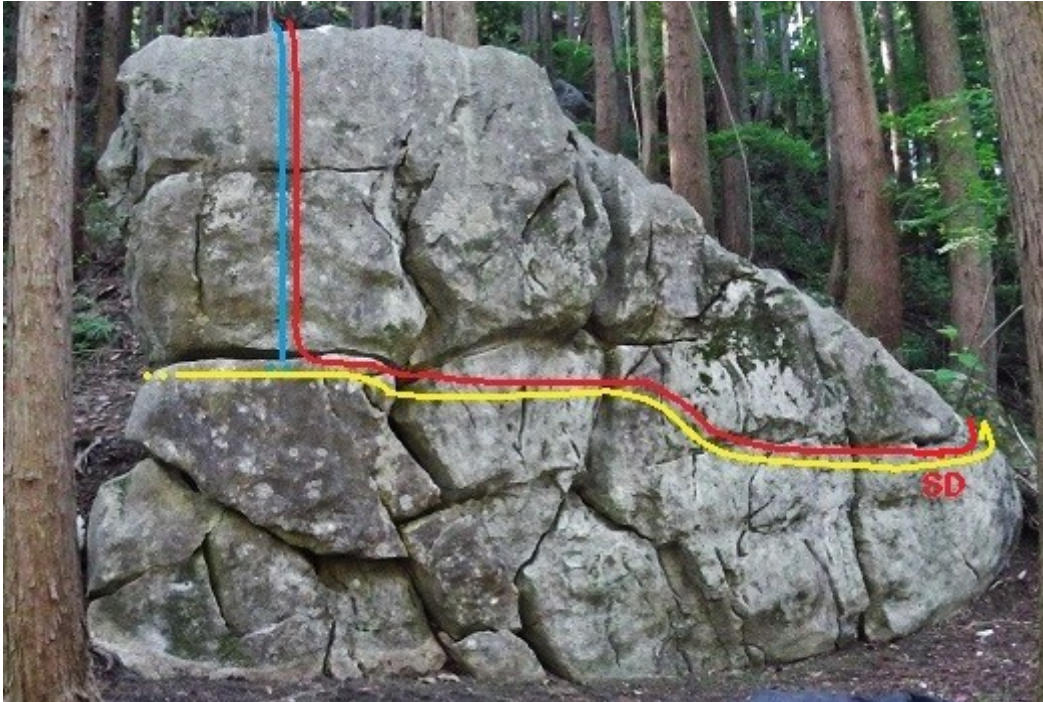
○巻道岩ボルダー

巻き道の途中にあるボルダー。下地が良いのでマットは必要なし。適度な傾斜があり、いろいろと遊べる。



○卍岩ボルダー

小泉エリアに下る鞍部にある岩。誰かが岩に卍のマークを入れておいたのでこの名称にしたが、正式名は不明。



○雷岩下ボルダー

見栄えが良いボルダー。以前から知っていたが、なかなか手をつけられずにいた。下地は良くマットは必要なし。左下から右上にガバをトラヴァースして黄緑のラインに繋げる課題が面白い。中央のハング越えは私には不可能。

